

IGY 観測とその後 - 南極観測の50年 -

50 years of Japanese Antarctic Research Expedition

平澤 威男 [1]

Takeo Hirasawa[1]

[1] 極地研・名誉教授

[1] Emeritus Prof., NIPR

IGY を契機として開始された南極観測は、1957年昭和基地を開設して以来、今年で50周年を迎えた。この機会に下記の視点から過去から現在の50年を振り返り、将来を見据えてみる。

- (1) 観測域の拡大、観測内容の充実、観測手法の高度化と多様化
- (2) 基地設備の充実、輸送力の充実と多様化
- (3) 特徴ある南極での観測・研究
- (4) 地球環境変動と南極観測
- (5) 卓越した成果